

6月定例会の審議状況

○は賛成 ■は反対 △は退席

Table with columns for item name, council members (創政会, いせはら未来会議, 公明党, 共産党, 進風会, 庶民), and decision results (議決結果).

市民の意見を国政に反映させるため意見書を提出しました

●教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

改正義務標準法が成立し、小学校の学級編制標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられた。少人数学級の必要性は、中学校においても変わりないことから、小学校にとどまることなく実施を進めていくことが必要である。

また、教職員が子どもたちと向き合う時間の確保も、重要になっている。いじめの認知件数が2021年度では、約61万件あり、これは2020年度より約9万件増加している。加えて、内閣府の調査では、子どもたちの4人に1人は、落ち込んだときに教員に相談しやすいと答えており、教職員が子どもと向き合う時間の確保は不可欠である。

子どもたちへのきめ細やかな指導と、心の安定に資するためにも、少人数学級実現に向けた教職員定数の改善や、スクール・サポート・スタッフ等の教育職員の常勤化が必要である。また、その実現に当たっては、必要な財源を国が保障することによって、子どもたちが全国各地に住んでいても、一定水準の教育を受けられることが必要である。

よって、国におかれては、子どもたちに豊かな教育を保障するために、次の事項の実現を図られるよう、強く要望する。

- 1 小学校の35人学級を計画的に進め、中学校での引き下げを早急に実施すること。また、30人学級について検討すること。
2 豊かな学びの環境を実現するための教職員の完全配置と、今日的教育課題のための教育職員の常勤化など教職員定数改善を推進すること。
3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

議会日誌

6月

- 9日(土) 30日
・6月定例会
1日・総務常任委員会
2日・議会広報委員会
5日・議会運営委員会
14日・全国市議会議長会 定期総会
16日・議会運営委員会
20日・総務委員会
・教育福祉委員会
27日・議会運営委員会
30日・議会広報委員会
・正副常任委員長会議

7月

- 3日・秦野市伊勢原市 環境衛生生組合議会
18日(土) 19日
・県央八市議会
議長連絡協議会
定例会および研修会
19日・熊本県宇土市議会 視察来庁
20日・全員協議会
・会派代表者会議
・議会広報委員会

会議録をご覧ください

議会だよりでは、各議員の質問・答弁の一部を要約し、掲載しています。詳しい内容は、市議会ホームページの会議録検索システムか、会議録をご覧ください。
会議録は、図書館、市役所1階市政情報コーナーなどでご覧いただけます。
(発行時期は議会事務局までご確認ください)

編集後記

令和2年1月に国内で初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、5月より感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更となりました。感染状況が落ち着き始めたことに伴い、行動規制が緩和し様々な行事も行われ始め、対面での会議やイベントなどコロナ前の日常が戻りつつあります。一方で世界情勢に目を向けると、ウクライナ侵攻や米中対立、世界的な物価高など、相変わらず混沌とし明るい兆しが見えません。伊勢

議会広報委員会

- 委員長 越水 崇史
副委員長 萩原 鉄也
委員 萩野 貴文
勝又 澄子
大垣 真一
米谷 政久
森尾 武史
中山真由美